

~~~~ 6歳と4歳のそろばん兄弟は「暗算の達人」 ~~~~

沖縄県の宮城珠算学校に通う石塚楓哉(ふうや)ちゃん(6)と樹(いつき)ちゃん(4)兄弟がこのほど、暗算検定試験(主催・全国珠算教育連盟)で、楓哉ちゃんは7段に、樹ちゃんは4段にそれぞれ合格した。同連盟県支部によると、4歳で4段に合格するのは県内初。6歳で7段合格も珍しいという。互いに良きライバルの2人。合格に「うれしかった」と笑顔を見せた。



暗算検定は、かけ算、割り算、見取り算の3種目。1種目3分の制限時間で40問(200点満点)を解く。4段は3種目それぞれ110点以上、7段は各140点以上で合格だ。

試験問題は 0.156×8.71 といった複雑な計算も多く含む。やんちゃ盛りの2人だが、練習問題に向かうと表情が一変。楓哉ちゃんは1問1~3秒ほどで、樹ちゃんも1問2~4秒ほどで素早く答えを書き込んだ。制限時間を迎えると、互いの解答用紙にちらりと目をやり、どこまで解答できたか競っているようだ。

楓哉ちゃんは試験問題を前にすると「早くやりたいなあ」と待ちきれない様子。樹ちゃんも「(普段から)そろばんをはじくのが好き」と笑う。楓哉ちゃんは「試験に合格した時とか、自分の目標を超えた時がうれしい」のだという。月~金曜日は3時間、土日は5時間ほど宮城珠算学校でそろばん練習に励んでいる2人。宮城忍人校長は「2人は練習量がすごい」と褒める。「子どもが好きなものを伸ばし、誰にも負けないものを一つ一つつってあげられたら」と目尻を下げた。(沖縄タイムス)

以前から沖縄はそろばんが盛んな県として有名ですが、それにしても凄い兄弟だなあと感心してしまいます。遊びたい盛りの年齢だと思うのですが、嫌がらずに毎日何時間も練習できるということがアンビリーバブル!

MaiPaso
毎日パソコン入力コンクール

毎日パソコン 文字入力 全国ランキング

文字入力のコンクールです。決められた和文を5分間で入力します。パソコン中級以上の生徒なら誰でも参加できます。(参加費 1,260円)

全国ランキング上位50位以内に入った人たちは。

中学年 (3~4年生) 124名 参加				
順位	氏名	学校	学年	得点
4	伊東大輝	牛久保小	4年	722=(601-0+121)
5	太田直樹	牛久保小	4年	699=(608-1+92)
11	福山水麻	牛久保小	4年	530=(441-0+89)
16	山本青矢	中部小	4年	486=(443-2+45)
17	原田清愛	牛久保小	3年	470=(409-1+62)
19	徳本和夏	牛久保小	3年	447=(389-1+59)
21	河合泰誌郎	牛久保小	4年	427=(390-2+39)
24	陶山綾香	牛久保小	4年	381=(317-0+64)
25	諸橋信之介	小坂井東小	4年	365=(333-2+34)
33	加藤愛純	牛久保小	3年	304=(253-0+51)
高学年 (5~6年生) 192名 参加				
順位	氏名	学校	学年	得点
15	杉石理桜	牛久保小	5年	597=(520-1+78)
22	鈴木真歩	牛久保小	5年	565=(515-2+52)
23	波田野葵	小坂井東小	5年	564=(470-0+94)
26	小山田遥香	牛久保小	5年	542=(472-1+71)
41	加藤康汰	牛久保小	5年	450=(431-3+22)
47	鈴木蓮大	牛久保小	5年	425=(388-2+39)



~ 課題文サンプル (高学年用) ~

意味深長 ことばや動作の裏に、別な深い意味がかくされているようす。意味深長なことばづかい。
立すいの余地もない 人や物がぎっしりつまっていて、わずかなすき間もない。会場は超満員で立すいの余地もない。

仏造って魂入れず ものは出来上がっても、いちばん大事なことがぬけていること。

シルバーシートがあっても席をゆずる心がなければ、仏造って魂入れずで何にもならない。

水に流す それまでの争いごとやうらみなどを、すべてを水に流して、仲直りをする。

すべてを水に流して、仲直りをする。

机上の空論 頭の中で考えただけの、実際には役に立たない考えや計画。

そんなのできっこない、机上の空論だよ。

※ 得点 = 正解入力数 - ミスカウント + 特別点